

令和7年度 下半期

# 水道事業業務状況報告書

（令和7年10月1日から）  
（令和8年3月31日まで）

砺波広域圏事務組合



# 目 次

## 1 事業の概況

- (1) 業務の概況 . . . . . 1
- (2) 経理の概況 . . . . . 1

## 2 業務の状況

- (1) 業務量 . . . . . 2
- (2) 企業債 . . . . . 3
- (3) 工事等 . . . . . 4

## 3 経理の状況

- (1) 予算執行状況 . . . . . 5
- (2) 貸借対照表 . . . . . 7

## 4 令和8年度予算の概況及び経営方針

- (1) 予算の概況 . . . . . 9
- (2) 経営方針 . . . . . 9

# 1 事業の概況

## (1) 業務の概況

### ア 水道用水供給事業

水道用水供給量は、1日当たりの基準水量 27,000立方メートル、年間基準水量 9,855,000立方メートルに対し、実績では1日平均供給水量 27,104立方メートル、年間供給水量 9,892,829立方メートル、供給水量の基準水量に対する割合は 100.4パーセントとなりました。

1日最大供給水量は、令和8年2月9日に記録した 29,851立方メートル、基準を上回る年間の超過水量は 6,941立方メートルとなりました。

### イ 建設改良事業

建設改良費は 51,215千円を執行しました。配水設備改良費では、緩速攪拌機 I - 2更新工事 12,320千円、沈澱水 I 残塩計更新工事 8,360千円のほか10件の改良工事を実施しました。また、営業設備費では、全有機炭素計 7,370千円のほか2件の器具を購入しました。

## (2) 経理の概況

### ア 収益的収入及び支出

収益的収支（税抜き）について、水道事業収益は 484,372千円となりました。その内訳は、営業収益 443,787千円及び営業外収益 40,585千円です。一方、水道事業費用は 466,398千円となりました。その内訳は、営業費用 454,042千円及び営業外費用 12,356千円です。

これらの結果、当年度純利益は 17,974千円となりました。

### イ 資本的収入及び支出

資本的収支（税込み）について、本年度は企業債を発行していないため、資本的収入額はありません。一方、資本的支出は 122,524千円となりました。その内訳は、建設改良費 51,215千円及び企業債償還金 71,309千円です。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 122,524千円については、減債積立金 10,000千円、建設改良積立金 10,000千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 4,656千円及び過年度分損益勘定留保資金 97,868千円で補てんしました。

## 2 業務の状況

### (1) 業務量

(単位：m<sup>3</sup>、円/m<sup>3</sup>)

項目	令和7年度	令和6年度	増減
年間基準水量	9,855,000	9,855,000	0
年間供給水量	9,892,829	9,965,887	△ 73,058
砺波市	4,503,981	4,496,440	7,541
南砺市	5,388,848	5,469,447	△ 80,599
1日当たりの基準水量	27,000	27,000	0
1日平均供給水量	27,104	27,304	△ 200
砺波市	12,340	12,319	21
南砺市	14,764	14,985	△ 221
1日最大供給水量	29,851	30,402	△ 551
砺波市	12,540	13,061	△ 521
南砺市	17,311	17,341	△ 30
1日最大供給日	令和8年2月9日	令和7年2月20日	—
供給料金	45	45	0

## (2) 企業債

### ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債

(単位：円)

区 分	前年度末 残 高	本 年 度		本年度末 残 高
		借 入 額	償 還 額	
財政融資 資 金	747,929,870	0	46,451,710	701,478,160
地方公共 団体金融 機構資金	0	0	0	0
銀 行 等 引受資金	807,714,288	0	24,857,142	782,857,146
合 計	1,555,644,158	0	71,308,852	1,484,335,306

### (3) 工事等

#### ア 建設改良工事 (契約金額 1,000千円以上)

工事名	施工内容	契約方法	契約相手先 契約金額	契約日	竣工日
緩速攪拌機 I - 2 更新工事	緩速攪拌機 3 基の水中軸受等の更新	入札 7社	(株)サンコー 12,320,000 円	令和7年6月9日	令和7年12月5日
沈澱水 I 残塩計更新工事	有試薬型残塩計 1 台の更新	入札 6社	(株)電陽社 8,360,000 円	令和7年6月30日	令和8年2月5日
汚泥掻寄機 I 制御盤更新工事	屋外自立型制御盤 2 面の更新	入札 6社	(有)松田電機店 6,380,000 円	令和7年7月11日	令和8年3月18日
管理棟照明更新工事	管理棟照明のLED化	入札 6社	(有)松田電機店 3,773,000 円	令和7年10月14日	令和8年2月9日
PAC貯留槽液位計更新工事	投込み式液位計 2 台の更新	入札 5社	(株)電陽社 3,630,000 円	令和7年7月28日	令和7年12月19日
排泥池送泥ポンプ 1 号更新工事	送泥ポンプ(出力3.7kW) 1 台の更新	入札 6社	(株)サンコー 3,025,000 円	令和7年6月9日	令和7年12月23日
監視カメラ設備更新工事	浄水場内監視カメラ 2 台の更新	随契 1社	(株)ほくつう 1,111,000 円	令和7年11月27日	令和8年3月27日
次亜 1 号貯留槽液位計更新工事	次亜塩素酸ナトリウム貯留槽 1 号液位計の更新	随契 2社	東海容器化工(株) 1,102,200 円	令和8年2月13日	令和8年3月27日

#### イ 維持及び修繕工事 (契約金額 1,000千円以上)

工事名	施工内容	契約方法	契約相手先 契約金額	契約日	竣工日
イオンクロマトグラフオーバーホール	水質検査機器の定期整備	随契 1社	(株)ケンテック 1,243,000 円	令和7年6月24日	令和8年3月6日

#### ウ 器具及び備品購入 (契約金額 1,000千円以上)

物品名	物品内容	契約方法	契約相手先 契約金額	契約日	納品日
全有機炭素計	水質検査機器の更新	入札 1社	丸文通商(株) 7,370,000 円	令和7年8月12日	令和7年11月6日
高感度濁度計	水質検査機器の更新	入札 1社	(株)ケンテック 1,763,300 円	令和7年8月12日	令和7年10月10日

#### エ 業務委託 (契約金額 1,000千円以上)

業務名	業務内容	契約方法	契約相手先 契約金額	契約日	完了日
天日乾燥床汚泥集積運搬業務委託	天日乾燥床(3床)の汚泥集積運搬業務	入札 4社	(株)藤井組 1,199,000 円	令和7年9月29日	令和7年12月3日

### 3 経理の状況

#### (1) 予算執行状況

##### ア 収益的収入及び支出

(単位：円、%)

区 分	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	合 計	
<b>水道事業収益</b>	<b>578,619,000</b>	<b>271,058,334</b>	<b>261,077,090</b>	<b>532,135,424</b>	<b>92.0</b>
1 営業収益	539,164,000	244,618,110	243,547,969	488,166,079	90.5
(1) 用水供給収益	539,164,000	244,618,110	243,547,969	488,166,079	90.5
2 営業外収益	39,455,000	26,440,224	17,529,121	43,969,345	111.4
(1) 受取利息	2,471,000	2,948,261	3,055,616	6,003,877	243.0
(2) 小水力発電収益	2,607,000	1,275,675	1,247,512	2,523,187	96.8
(3) 長期前受金戻入	723,000	361,818	361,823	723,641	100.1
(4) 雑収益	33,654,000	21,854,470	12,864,170	34,718,640	103.2
<b>水道事業費用</b>	<b>574,295,000</b>	<b>226,242,973</b>	<b>283,262,839</b>	<b>509,505,812</b>	<b>88.7</b>
1 営業費用	525,685,000	220,097,086	244,004,890	464,101,976	88.3
(1) 総係費	31,342,000	13,648,078	16,462,668	30,110,746	96.1
(2) 原水及び浄水費	249,109,000	90,481,713	103,194,743	193,676,456	77.7
(3) 送水費	41,999,000	15,444,111	21,101,013	36,545,124	87.0
(4) 減価償却費	200,981,000	100,523,184	100,523,210	201,046,394	100.0
(5) 資産減耗費	2,254,000	0	2,723,256	2,723,256	120.8
2 営業外費用	48,510,000	6,145,887	39,257,949	45,403,836	93.6
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	10,507,000	5,318,347	5,132,798	10,451,145	99.5
(2) 消費税及び 地方消費税	35,891,000	0	32,934,600	32,934,600	91.8
(3) 小水力発電費	2,112,000	827,540	1,190,551	2,018,091	95.6
3 予備費	100,000	0	0	0	0.0
(1) 予備費	100,000	0	0	0	0.0
<b>収支差引額</b>	<b>4,324,000</b>	<b>44,815,361</b>	<b>△ 22,185,749</b>	<b>22,629,612</b>	<b>—</b>

地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書の規定による予算超過支出額は、減価償却費 65,394円、資産減耗費 469,256円です。

## イ 資本的収入及び支出

(単位：円、%)

区 分	予算額	執行額			執行率
		上半期	下半期	合 計	
資本的収入	0	0	0	0	—
1 企業債	0	0	0	0	—
(1) 企業債	0	0	0	0	—
資本的支出	123,222,000	35,590,772	86,932,980	122,523,752	99.4
1 建設改良費	51,912,000	0	51,214,900	51,214,900	98.7
(1) 配水設備改良費	42,361,000	0	41,815,400	41,815,400	98.7
(2) 営業設備費	9,551,000	0	9,399,500	9,399,500	98.4
2 企業債償還金	71,310,000	35,590,772	35,718,080	71,308,852	100.0
(1) 企業債償還金	71,310,000	35,590,772	35,718,080	71,308,852	100.0
収支差引額	△ 123,222,000	△ 35,590,772	△ 86,932,980	△ 122,523,752	—

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 122,523,752円は、減債積立金 10,000,000円、建設改良積立金 10,000,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 4,655,900円及び過年度分損益勘定留保資金 97,867,852円で補てんしました。

## (2) 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部				
区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	備 考
<b>1 固定資産</b>	<b>3,949,470,909</b>	<b>4,107,443,450</b>	<b>△ 157,972,541</b>	
(1)有形固定資産	3,949,290,809	4,107,263,350	△ 157,972,541	
ア 土地	171,092,680	171,092,680	0	
イ 建物	321,736,448	316,784,448	4,952,000	
減価償却累計額	△ 212,429,825	△ 202,581,541	△ 9,848,284	
ウ 構築物	4,667,430,771	4,667,430,771	0	
減価償却累計額	△ 1,873,452,111	△ 1,776,964,796	△ 96,487,315	
エ 機械及び装置	1,953,663,563	1,932,015,101	21,648,462	
減価償却累計額	△ 1,162,281,383	△ 1,087,706,570	△ 74,574,813	
オ 車両運搬具	6,312,618	6,312,618	0	
減価償却累計額	△ 4,866,619	△ 4,602,717	△ 263,902	
カ 器具及び備品	177,712,612	181,912,612	△ 4,200,000	
減価償却累計額	△ 104,127,945	△ 104,929,256	801,311	
キ 建設仮勘定	8,500,000	8,500,000	0	R4管路更新基本計画策定業務
(2)無形固定資産	180,100	180,100	0	
ア 電話加入権	180,100	180,100	0	
<b>2 流動資産</b>	<b>1,892,993,004</b>	<b>1,801,192,017</b>	<b>91,800,987</b>	
(1)現金預金	1,240,331,223	1,149,060,942	91,270,281	
(2)未収金	53,704,420	53,830,700	△ 126,280	供給料金等
(3)有価証券	598,926,451	598,269,465	656,986	国債等
(4)前払費用	30,910	30,910	0	保険料
(5)前払金	0	0	0	
<b>合 計</b>	<b>5,842,463,913</b>	<b>5,908,635,467</b>	<b>△ 66,171,554</b>	

(単位：円)

負債・資本の部				
区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	備 考
<b>3 固定負債</b>	<b>1,035,370,869</b>	<b>1,484,335,306</b>	<b>△ 448,964,437</b>	
(1)企業債	1,035,370,869	1,484,335,306	△ 448,964,437	建設改良費等財源
<b>4 流動負債</b>	<b>470,555,871</b>	<b>105,013,059</b>	<b>365,542,812</b>	
(1)企業債	448,964,437	71,308,852	377,655,585	建設改良費等財源
(2)未払金	16,591,434	28,704,207	△ 12,112,773	
(3)引当金	5,000,000	5,000,000	0	賞与等引当金
<b>5 繰延収益</b>	<b>9,728,949</b>	<b>10,452,590</b>	<b>△ 723,641</b>	
(1)長期前受金	27,061,718	27,061,718	0	受贈財産評価額 小水力発電設備
(2)収益化累計額	△ 17,332,769	△ 16,609,128	△ 723,641	
<b>6 資本金</b>	<b>3,934,795,336</b>	<b>3,914,795,336</b>	<b>20,000,000</b>	
(1)資本金	3,934,795,336	3,914,795,336	20,000,000	
7 固有資本金	2,930,857,836	2,930,857,836	0	旧企業団分
イ 繰入資本金	93,937,500	93,937,500	0	市町村出資金
ウ 組入資本金	910,000,000	890,000,000	20,000,000	
<b>7 剰余金</b>	<b>392,012,888</b>	<b>394,039,176</b>	<b>△ 2,026,288</b>	
(1)利益剰余金	392,012,888	394,039,176	△ 2,026,288	
7 減債積立金	136,000,000	146,000,000	△ 10,000,000	
イ 建設改良積立金	155,000,000	165,000,000	△ 10,000,000	
ウ 未処分利益剰余金	101,012,888	83,039,176	17,973,712	
<b>合 計</b>	<b>5,842,463,913</b>	<b>5,908,635,467</b>	<b>△ 66,171,554</b>	

## 4 令和8年度予算の概況及び経営方針

### (1) 予算の概況

#### ア 業務の予定量

年間総供給水量	11,184,420 m <sup>3</sup>
1日当たりの基準水量	27,000 m <sup>3</sup>

#### イ 収益的収入及び支出

##### ( 収 入 )

第1款 水道事業収益	600,113 千円
第1項 営業収益	553,628 千円
第2項 営業外収益	46,485 千円

##### ( 支 出 )

第1款 水道事業費用	591,902 千円
第1項 営業費用	546,077 千円
第2項 営業外費用	45,725 千円
第3項 予備費	100 千円

#### ウ 資本的収入及び支出

##### ( 収 入 )

第1款 資本的収入	389,292 千円
第1項 企業債	377,143 千円
第2項 補助金	12,149 千円

##### ( 支 出 )

第1款 資本的支出	543,436 千円
第1項 建設改良費	94,470 千円
第2項 企業債償還金	448,966 千円

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんする予定です。)

### (2) 経営方針

令和8年度の砺波広域圏事務組合水道用水供給事業は、平成31年3月に策定した「砺波広域圏新水道ビジョン（平成31年度～令和10年度）」の基本理念である『いつでも安全で安心して飲める水道水を未来に』に基づき、計画的かつ効率的な事業の運営に努めてまいります。

建設改良事業は、導水管路シールド工設計業務委託や城端調整槽流量計更新工事のほか4件の改良工事、原子吸光光度計購入のほか2件の器具備品購入を行う予定であり、水道施設整備の計画的な推進に取り組んでまいります。